

Ⅱ 調査結果の概要

【概況】

平成27年度学校保健統計調査の結果は以下のとおりになりました。

1 滋賀県の推移

身長、体重および座高は、男女とも昭和30年以降増加傾向でしたが、平成に入ってから横ばいで推移しており、平成27年度も同様の傾向にあります。

2 全国との比較

身長、座高は、男女とも多くの年齢で全国平均値と同じか、または上回りました。体重は男女ともほとんどの年齢で全国平均値を下回り、都道府県別の全国順位でも下位の順位となりました。

(全国順位)

- 全国第1位・・・15歳女子身長
- 全国第2位・・・15歳女子座高、17歳女子座高
- 全国第46位・・・10歳男子体重
- 全国第47位・・・12歳女子体重

3 「親の世代」との比較

身長、体重は、多くの年齢で「親の世代」である30年前（昭和60年度調査）の県平均値を上回っていますが、女子の体重の14歳～16歳などは親の世代を下回っています。

30年前と体格差が最も開く年齢は、男子では身長が11歳、体重も11歳でいずれも30年前を上回っています。女子では身長が11歳で30年前を上回っていますが、体重の15歳は30年前を下回っています。また、女子の体重においては、12歳および14歳～16歳では30年前を下回る結果となっています。

4 主な疾病・異常

「眼の疾病・異常」、「鼻・副鼻腔疾患」および「蛋白検出」の者の割合は、全ての学校種別で全国平均値を下回っていますが、「心電図異常」の人の割合は、調査対象となっていない幼稚園を除くすべての学校種別で全国平均値を上回っています。また、小学校および中学校における「裸眼視力1.0未満」の人の割合は、全国平均値を下回っています。

「むし歯（う歯）」の人の割合は、平成20年度からすべての学校種別で減少傾向にありましたが、今年度は中学校と高等学校で微増となりました。